

Japan Expo 2017 参加の報告について

本市マスコットキャラクター「とち介」が、フランス・パリで開催された「Japan Expo 2017」伝統文化パビリオン「WABI-SABI（わび-さび）」に参加しました。また、市民、ファン向けに報告会を実施します。

1. 「ジャパン エキスポ 2017」

（１）栃木市PRブース

縦 1m横 3mのブースに、桐下駄、新波の提灯を展示し、フランス語で作成した本市のチラシ、とち介の名刺、サンバイザーなどの配付を行いました。

本市ブースには、4日間で延べ約 6,000 人の来場者がありました。

塗りを施した桐下駄への関心が高く、今回は展示のみでありましたが、日に数人、購入を希望される方がいました。また、裏を折り紙にしたチラシに興味を持ち、日に数十人の方が、その場で折り紙を体験しました。

桐下駄を履いて提灯を持った姿で写真を撮る体験コーナーの時間を何度か作り、とても好評でした。

（２）ステージPR

ステージPRは、SAKURA（約 800 名）、AZUKI（約 100 名）、ART（約 100 名）の3つのステージで、計7回行い、延べ約 1,200 人の観衆が有りました。

大きな SAKURA ステージでは情報のPRに努め、小さ目の AZUKI、ART ステージでは双方向での触れ合いを取り入れたPRを行いました。

3日目（7月8日）の AZUKI ステージでは、栃木市ふるさと大使の MAGIC OF LiFE とのコラボレーションステージがされました。

（３）グリーティング

ステージの合間を縫って、とち介は会場内を積極的に歩き回りました。来場者はとち介と触れ合い、写真を撮るなど積極的に関わっていました。また、各ブース担当からとち介にグリーティングのオファーを受け、各ブースを回りPRを各所で行いました。

(4) 参加団体等との交流

WABI-SABI のパビリオンでは、ゆるキャラ関連の自治体や団体だけでなく、日本伝統文化に関するブースやパフォーマンスが行われており、その団体や個人とは情報交換を行い、今後の活動に役立つ、活動の内容や手法の情報が得られました。

(5) インバウンド対応調査等

フランスを始め外国からの誘客を図るインバウンド関連の取り組み等について、各団体、企業、個人等から聞き取りなどを行うとともに、会場でフランスの旅行会社、国際化関連団体、情報発信メディアなどへ本市の情報を提供し、情報を交換しました。

特に、本市では何を見せるか、何を体験してもらうかを明確にするとともに、場所や内容などを示す、案内板の外国語表記は必須であると強く感じました。

(6) SNS

とち介は現地から twitter で市民、ファンの皆さま向けにつぶやきました。また、会場来場者、出展者、関係機関等から SNS で情報が発信されたり、外国人にとち介の SNS がフォローされたりするなど、情報が拡散されました。

また、市の公式 Facebook で掲載した記事は、通常 1 投稿 1,000 件程度のアクセスのところ、2 つの投稿で 13,000 件を超えるアクセスがありました。

(7) 写真提供

「ジャパン エキスポ 2017」での写真について、別紙のとおり抜粋しました。データで提供させていただきますので、番号でお知らせください。

2. Japan Expo 2017 報告会

(1) 日時

平成29年7月23日（日）午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分
（開場：午前 9 時 30 分）

(2) 場所

市役所 1 階市民スペース

(3) 内容

現地パリでの活動報告、写真展示、報告会記念缶バッチの配付

【問合せ】 シティプロモーション課 担当：小林 Tel.0282-21-2172
--

「Japan Expo 2017」 in Paris , France

①ブース 1



②ブース 2



③ブース 3



④ブース 4



⑤ステージ 1 (SAKURA)



⑥ステージ 2 (ART)



「Japan Expo 2017」 in Paris , France

⑦ステージ3 (AZUKI with MAGIC)



⑧グリーティング1



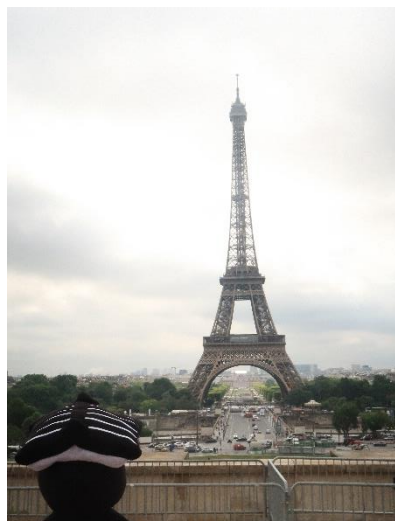
⑨グリーティング2



⑩グリーティング3



⑪エッフェル塔1



⑫エッフェル塔2

